

桑野川での長生小学校児童による記念植樹の開催について ～クワガタの林づくり～

那賀川河川事務所では、1月30日(水)に現在建設中の大津田排水ポンプ場において、阿南市立長生小学校の4年生24名による記念植樹を行いました。11月の教室での出前講座・12月の現場見学に引き続き、今度は自分たちの手で工事現場に植樹をすることで、「桑野川床上浸水対策特別緊急事業」をより理解してもらおうという目的です。

当日は、徳島県自然保護協会の会長である森本康滋氏においでいただき、学校の教室で植樹の目的について学んだ後、現場にて植樹の方法や木の種類について説明を受けました。前日までの雨の影響が心配されていましたが、現場担当者らの陰の努力に支えられ、小学生の笑顔と喜ぶ姿、そして一生懸命に土を掘って苗を植える様子を見ることができました。

今回は、地元の木々を使うとともにクワガタやカブトムシがいる林となるようクヌギやコナラを混ぜた植生としています。児童たちがお父さん・お母さんになる頃には、彼等が植えた小さな木の苗たちが育ち、クワガタが住むような林になっていることでしょう。そして、次の世代に桑野川を大事にする気持ちが伝わっていくであろうことを願っています。

